

パブリックコメント意見募集の結果公表

(仮称) 帯広市公共施設マネジメント計画(案)について、パブリックコメントを実施した結果、ご意見の概要と市の考え方は下記のとおりです。寄せられたご意見等を踏まえ修正するとともに、参考資料の追加を行い、最終案とします。

【意見募集結果】

| | | | |
|-------------------|------------------------------|---------------|-----|
| 案件名 | (仮称) 帯広市公共施設マネジメント計画(案) | | |
| 募集期間 | 平成28年12月1日(木) ~ 平成29年1月4日(水) | | |
| 意見の件数 (意見提出者数) | 24件(7人) | | |
| 意見の取り扱い | 修正 | 案を修正するもの | 1件 |
| | 既記載 | 既に案に盛り込んでいるもの | 6件 |
| | 参考 | 今後の参考とするもの | 6件 |
| | その他 | 意見として伺ったもの | 11件 |
| 意見の受け取り | 持参 | | |
| | 郵送 | | |
| | ファクス | | |
| | 電子メール | | |

【意見等の内容】

| 市民の意見の概要 | 件数 | 意見に対する帯広市の考え方 |
|---|----|--|
| 基本的な考え方として都市計画の全体像を示し、その中で公共施設のあり方・整備計画をまとめて整合性の取れた推進を図っていただきたい。 | 1件 | 【既記載】 これまで人口の増加や都市化の進展に合わせて多くの公共施設等を整備してきており、今後のあり方はこれからまちづくりにも大きな影響を与えるものと認識しております。今後も将来のまちづくりを見据えながら、取り組みを進めてまいります。 |
| 適正な施設使用料の負担のほか、施設の運営にあたっては、利用者の協力や民間会社による施設の管理・運営を行うなど、経費削減が必要と考える。 | 1件 | 【既記載】 PFIや指定管理者制度をはじめとする公民が連携した手法の活用など、本計画に基づき公共施設等に係る費用の縮減に取り組んでまいります。なお、使用料については、施設の管理運営経費や利用者数の推移などを見極めながら、今後とも適正な算定に努めてまいります。 |

| 市民の意見の概要 | 件数 | 意見に対する帯広市の考え方 |
|--|----|--|
| 施設総量の削減などにより廃止した施設の有効利用をどのように考えているのか、わかるようにしてほしい。 | 1件 | 【修正】 廃止した施設の活用については、36 ページの「1-9 その他施設・普通財産(2)今後の考え方②普通財産」に記載しておりますが、いただいた意見等を含め、よりわかりやすく、適切な表現に修正いたします。 |
| コミュニティセンターや福祉センターについて、効率的な管理・運営の点から、施設の統廃合や管理・運営の民間委託が必要かもしれないが、地域の利用者のことも考えながら取り組むべきと考える。 | 1件 | 【参考】 施設の統廃合や民間委託については、利用者の理解が得られるよう、利用者への配慮を行いながら進めてまいります。 |
| コミュニティセンターについて、LCC(ライフサイクルコスト)縮減の観点から長寿命化を図るために、日頃からの計画的な維持管理が必要と考える。 | 1件 | 【既記載】 施設の点検・診断等を行いながら計画的に修繕や補修を行うなど、施設の長寿命化に取り組んでまいります。 |
| 市街地の8箇所のコミュニティセンターは3~4箇所に集約し、他の機能の統合集約と管理人員体制の効率化も並行して実施すべきと考える。また、利用者の利便性向上策として、バス路線の構築、余裕のある駐車場の設置が必要と考える。 | 1件 | 【その他】 コミュニティセンターは耐震性を有し、諸証明の発行業務など行政系施設の機能も併せ持つコミュニティ活動を支える施設として、長寿命化に取り組んでまいります。 |
| 学校の統廃合を進め、福祉関連施設との併設による複合化や統合により空いた校舎をコミュニティセンターにするなど、有効利用を図るべきと考える。 | 1件 | 【既記載】 小・中学校については適正配置を進めるとともに、複合化や用途を廃止した施設の活用など、有効利用に向けた検討を行ってまいります。 |
| できるだけ早期に残す施設と廃止する施設を決めて、具体的に取り組んでいくことが大切。 | 1件 | 【その他】 本計画は、長寿命化や施設総量の適正化などに取り組む公共施設マネジメントの基本的な方針や考え方を示すものです。具体的な取り組みは、第4章の施設類型ごとの考え方に基づき、各施設ごとに検討を行ってまいります。 |
| 民間活力の活用、情報の管理と共有の具体性が見えない。 | 1件 | |
| 施設の建て替え等が必要な場合は、高層建築物ではなく平屋建てを基本とするなどコストを抑えるべきと考える。 | 1件 | |
| スポーツ・文化施設等市民全体に関わる施設は、利便性を重視した配置やメンテナンス等維持管理体制の整備が必要と考える。 | 1件 | |
| 公園のトイレについて、気持ちよく利用できるよう清掃の徹底や古いものは修繕を行うなど衛生環境の向上を図って欲しい。経費増の対応として低額な利用料の徴収も一つの案と考える。 | 1件 | |

| 市民の意見の概要 | 件数 | 意見に対する帯広市の考え方 |
|--|----|--|
| 多くの市民に公共施設等を取り巻く厳しい状況を認識してもらえるよう、積極的に情報の発信を行うことが必要と考える。 | 1件 | <p>【参考】 公共施設マネジメントの推進にあたっては、市民の理解や協力が不可欠であることから、情報の発信に取り組んでまいります。</p> |
| <p>「帯広市公共施設マネジメント推進本部」において取り組みを推進するとのことであるが、20年の長期にわたるものであるので、縦割り、年度ごとの部分最適とならぬよう、きちんとした組織で一元管理していくべきと考える。</p> <p>また、利用率が低いのに一部の意見、声の強いほうに流されるなど問題・課題のその場しのぎ、先送りとならないよう、強い意志のもとスピード感をもって取り組んでいただきたい。</p> | 1件 | <p>【参考】 本計画の推進にあたっては、「帯広市公共施設マネジメント推進本部」において、施設管理に係る技術的な視点や将来の財政的な負担を軽減する視点を持ち、関係部署間で公共施設に関する情報を共有し連携するとともに、幅広く市民意見の聴取に努めながら取り組んでまいります。</p> |
| 推進チームは機動的に取り組むとのことであるが、職員のみで構成し、市民が参加する機会はないのか。 | 1件 | <p>【既記載】 公共施設マネジメントの基本方針「6市民参画の推進」において、公共施設等を効果的・効率的に利活用していく方策などについて、施設利用者や地域住民など市民の参画を得ながら検討を行うこととしており、幅広く市民意見をいただきながら進めてまいります。</p> |
| 外部の意見を聞くための審議会、協議会等の構成は各種団体の代表が中心のように思われるが、有識者、専門家をはじめとする実務経験者の発掘・活用が必要と考える。 | 1件 | |
| 施設ごとの老朽化の具合をランク付けしたものを見やすく公開してほしい。 | 1件 | <p>【参考】 本市では、これまで施設の調査・点検を行い、劣化状況などにより計画的に修繕や補修を実施するなど、施設の長寿命化に取り組んでまいりました。</p> <p>ご意見の趣旨を踏まえ、こうした公共施設の状況や取組みの成果など施設に関する情報を市民に効果的に発信するための方策の検討を行い、市民と情報を共有しながら公共施設マネジメントを推進してまいります。</p> |
| これまで取り組んできたストックマネジメント計画の実施状況や取組成果を、わかりやすく公開してほしい。 | 1件 | |
| 今後、新規の施設建設は極力しない方が良い。 | 1件 | <p>【参考】 公共施設マネジメントの基本方針「2施設総量の適正化」において、施設総量の削減の検討を記載しており、新規建設を行う場合は十分な議論が必要と考えております。</p> |

| 市民の意見の概要 | 件数 | 意見に対する帯広市の考え方 |
|--|-----|---|
| 企業会計の収支がわからない。 | 1 件 | <p>【その他】</p> <p>本計画は、平成 27 年に作成した「帯広市の公共施設等の現状（公共施設白書）」を踏まえ、策定しております。</p> <p>本市の財政状況、更新費用の推計条件や各公共施設のコスト、利用人数、耐震性能などの詳細については、白書や附属資料である施設シートに記載しております、これらの資料については、本市のホームページで公開しております。</p> |
| 各施設の更新費用の推計のもととなる更新年数の根拠がわからない。 | 1 件 | |
| 第4章の施設配置図について、位置図的なものではなく、耐震されている施設や改修が必要な施設がわかるようにしてほしい。 | 1 件 | |
| 市民文化、社会教育系施設、スポーツ・レクリエーション系施設、産業系施設について、収益や利用人数がわかるようにしてほしい。 | 1 件 | |
| とかち帯広空港、競馬場にかかるコストを図やグラフでわかるようにしてほしい。 | 1 件 | |

【案件の最終案】

別紙のとおり